

被ばく低減対策好事例集

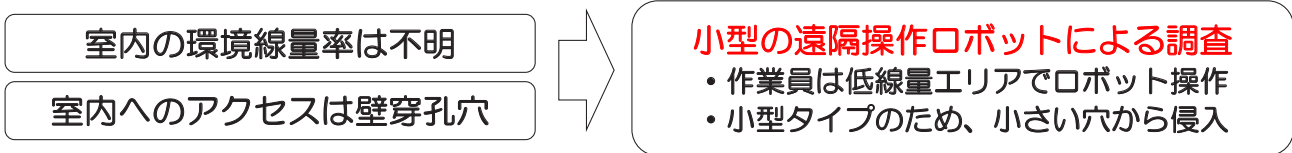
場所		分類		番号	28-04
原子炉建屋内	RB	RB	5		
タービン建屋内	TB			2	距離
R ZONE	R			3	遮へい
Y ZONE	Y			4	線源の除去
G ZONE	G			5	遠隔、自動化
その他 ()	Z			6	汚染拡大防止
				7	その他

内容	小型ロボットの活用によるTIP室調査（状況確認/線量率測定）			
作業部位	1号機原子炉建屋1階 TIP室			
概略	TIP室の状況を調査するにあたり室内の状況が不明のため、小型ロボットを活用した調査を実施した。			
評価 (定性・定量)	効果		対策前	対策後
		被ばく線量(mSv)	--	--
		人工数(人日)	--	--

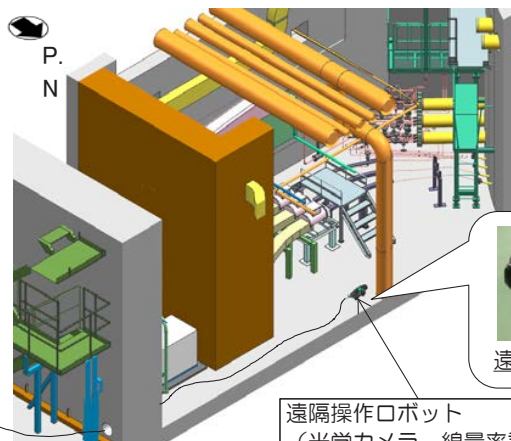
事例詳細

対策前 TIP室内は高線量率である可能性が高く、作業員が立ち入ることが不可能であり、TIP室内状況が不明であった。

対策内容 壁に穴を明け、小型ロボットを内部に入れてTIP室内の環境線量率測定及び室内調査を実施した。作業員は、近傍の低線量率エリアでロボット操作を実施し、不要な被ばくを防止した。



低線量エリアでロボットを遠隔操作



遠隔操作ロボット外観

遠隔操作ロボット
(光学カメラ、線量率計)